

社会福祉法人ラファエル会 行動計画 (次世代育成支援、女性活躍推進 一体型)

社会福祉法人ラファエル会では、職員が仕事と生活を両立させることができる職場環境を整備するとともに、女性が活躍できる雇用環境も整備することによって、すべての職員がその能力を十分に発揮できるようにするため、次のように行動計画を策定しています。

1. 計画期間 2019年 4月 1日～2024年 3月31日までの 5年間

2. 内容

目標1：働き方を改善し、仕事と生活を両立させるため、職員全員の年次有給休暇取得率を80%以上とします。

【次世代育成支援】

<対策>

- 2019年10月1日を第1回として、毎年10月1日
年休の取得状況調査を行い、年休取得日数が5日未満となっている職員に対し、下半期で少なくとも年5日以上取得に達するように時季指定を行う。
- ～2021年4月
特に年休の取得が進まない事業所については、夏季または年末年始休暇を連続して取得できる職員配置体制を整えるなどの施策を行う事で、職員全員の年次有給休暇取得率を80%以上とする。

目標2：妻の出産時特別休暇2日の日数延長ならびに男性職員の育児休業を取得しやすい環境の整備を図ります。

【次世代育成支援】

<対策>

- 2020年4月から2021年3月
職員のニーズや課題を抽出し、目標の実現性などを検証する
- 2021年10月～
検証が完了した事項から制度化もしくは規程化する。

目標3： 女性管理職（課長以上）の割合を現在の31%から40%以上とします。

【女性活躍推進】

<対策>

●2019年4月～

女性を含むすべての管理職のモチベーション維持と管理職候補のキャリア形成のために厚生労働省の示すキャリアパス研修を実施し、女性に限らず全体のレベルアップとキャリア意識の醸成を図ることで、女性の活躍の機会を広げていく。

●2023年10月

これまでの4年間の研修と実践の結果として、管理職の男女比を6：4とする